



2週間以上続く咳 百日咳かも！

平成 30 年 11 月 21 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 46 週分・11 月 12 日～11 月 18 日)

《 インフォメーション 》

●百日咳

百日咳は、**感染症法に基づく届け出基準が改正され、平成 30 年 1 月 1 日より全数把握疾患となっています。**県内では、先週から今週にかけて新たに 2 件の百日咳の患者報告があり、今年の報告数は 23 件となりました。年齢別では、大部分が 15 歳未満の患者です (図参照)。

百日咳は、百日咳菌を原因とする急性の呼吸器感染症で、患者の咳やくしゃみなどに含まれる菌を吸い込むことにより感染します。百日咳の症状は長引く咳が特徴で、潜伏期(1～2 週間)の後に、

①カタル期：風邪に似た症状で始まり、発熱はなく、咳が徐々に強くなります。②痙咳期(けいがいき)：百日咳に特徴的な咳(コンコン・・・ヒュー)が持続します。③回復期：激しい咳発作は次第に弱くなり、症状が治まります。特に、**乳児では重症化しやすく、無呼吸発作やチアノーゼなどの症状が現れ、まれに脳症や肺炎を伴い死亡する場合がありますので、注意が必要**です。乳児を百日咳から守るためには、予防接種が重要となります。お子さんが生後 3 ヶ月になったら、出来るだけ早くワクチンを受けましょう。

成人やワクチン接種後の感染者では、典型的な発作性の咳が目立たないため、百日咳と診断されないことが多く、乳幼児への潜在的な感染源となっています。また百日咳は感染力が非常に強く、学校や集団施設における集団発生が報告されています。2 週間以上咳が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

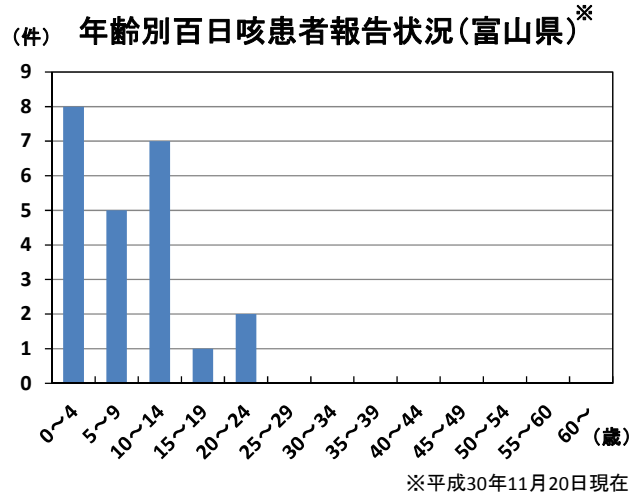
《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 3 件 (①②ともに 50 歳代、女性 ③90 歳代、女性)
- 四類感染症 つつが虫病 1 件 (40 歳代、男性)
- レジオネラ症 1 件 (50 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 件 (①第 44 週診断分：80 歳代、男性 ②60 歳代、女性)
- 後天性免疫不全症候群 1 件 (20 歳代、男性、無症候)
- 百日咳 1 件 (10 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	5.34 (↓)	5.83
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.86 (↓)	1.93
3 位	R S ウイルス感染症	1.76 (↓)	2.00
4 位	咽頭結膜熱	1.41 (↑)	0.90
5 位	手足口病	1.14 (↑)	0.52
6 位	突発性発しん	0.34 (↓)	0.45

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第46週 平成30年11月12日～平成30年11月18日）

分類	疾患	今週報告分（第46週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核	2				1	3	11	13	54	18	83	179	
三類感染症	細菌性赤痢										1		1	
	腸管出血性大腸菌感染症							3	4	4	3	11	25	
	パラチフス											1	1	
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3	
	A型肝炎											4	4	
	つつが虫病	1					1	3				1	4	
	デング熱										3		3	
	レジオネラ症					1	1	4	1	8	4	23	40	
五類感染症	アメーバ赤痢										1	1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1			4		12	16	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎							2		1	1	2	6	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	6	2	6	19	
	後天性免疫不全症候群					1	1					1	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		2		1	5	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	8	4	17	33	
	水痘（入院例）							2		2		3	7	
	梅毒									1		12	13	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳		1						2			9	12	
	風しん									4	1	4	9	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ					2	2	2,232	1,826	3,491	2,452	5,373	15,374
							0.13	0.04						
RSウイルス感染症		4		18	12	17	51	74	41	288	121	709	1,233	
		1.00		2.25	3.00	1.70	1.76							
咽頭結膜熱		11	1	13	12	4	41	240	79	281	46	322	968	
		2.75	0.33	1.63	3.00	0.40	1.41							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	6	22	4	17	54	168	129	595	225	853	1,970	
		1.25	2.00	2.75	1.00	1.70	1.86							
感染性胃腸炎		33	17	45	8	52	155	1,268	857	1,391	243	2,999	6,758	
		8.25	5.67	5.63	2.00	5.20	5.34							
水痘				1	1	3	5	23	6	95	61	119	304	
				0.13	0.25	0.30	0.17							
手足口病		1	1	6	21	4	33	12	14	117	145	136	424	
		0.25	0.33	0.75	5.25	0.40	1.14							
伝染性紅斑						2	2	7	4	93	44	48	196	
						0.20	0.07							
突発性発しん		1	1	6		2	10	60	48	212	51	158	529	
		0.25	0.33	0.75		0.20	0.34							
ヘルパンギーナ			2		1	1	4	122	117	331	104	286	960	
			0.67		0.25	0.10	0.14							
流行性耳下腺炎		2				1	3	7	11	22	4	42	86	
		0.50				0.10	0.10							
急性出血性結膜炎										2	14	1	17	
流行性角結膜炎				1			1	2	18	22	5	7	54	
				0.50			0.14							
細菌性髄膜炎											5	5		
無菌性髄膜炎											2	2		
マイコプラズマ肺炎							7	4	6	6	11	34		
クラミジア肺炎										1	3	4		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16		
インフルエンザによる入院患者（*）											2	2		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。